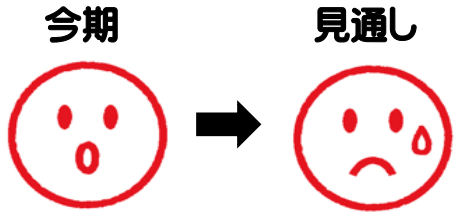
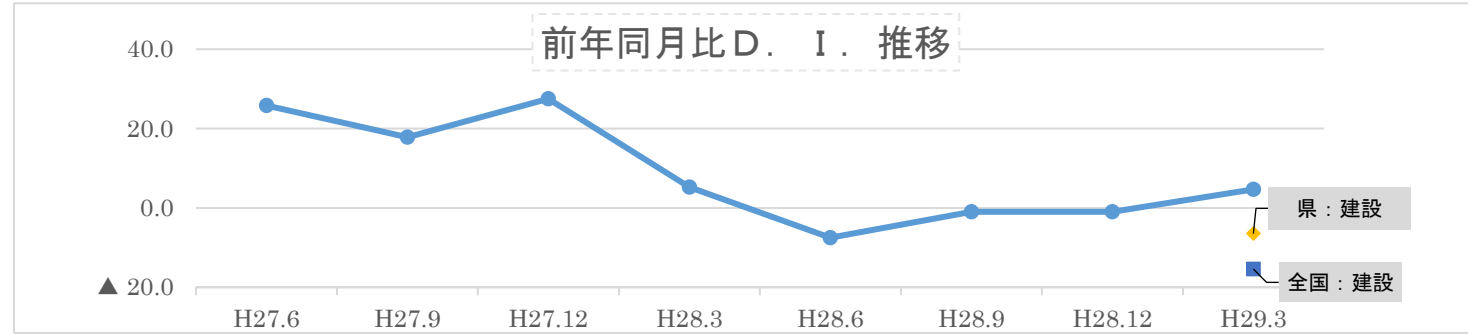


# 建設業

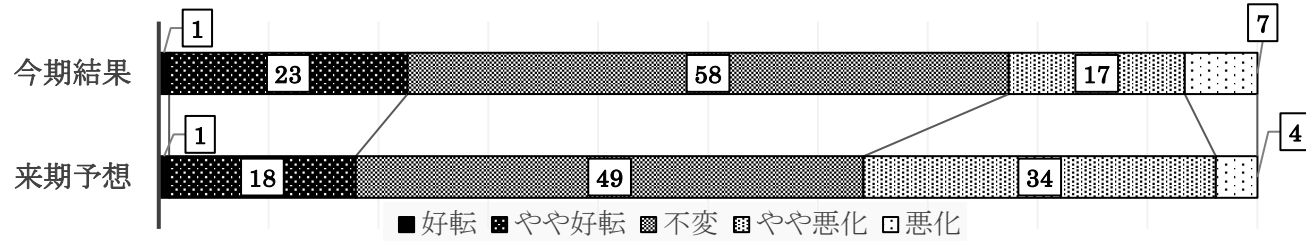


## ■丹波市の景況推移

前回調査からやや上昇傾向。住宅関連着工数や一部大雪災害の復旧もあり持ち直した。一方、市島地区では水害復興工事が一段落以降、伸び悩み傾向である。



## ■丹波市の景気動向



## 【今期の景況】

冬場の受注工事が減少する時期に降雪が重なり、工事が一時ストップした事業所が多く、売上・収益に影響を与えた。一方で、板金・屋根瓦を取り扱う事業所においては、降雪被害の復旧工事需要があり、売上・収益の増加につながった。

## 【来期の景況予想】

新年度を迎えたことにより、県市等からの公共工事入札が鈍る為、全体的な工事受注数が減少すると予想。また、入札が出てきたとしても競争が激しく（近年では市外からの参加も多い）、なかなか受注につながらないと懸念する声も多い。

## ■全国の景気動向

先月と比べわずかな悪化。一般住宅建築や土木建設関連などは比較的好調。また、東京五輪に関わる需要や首都圏の開発ラッシュは当面続く見込み。一方、ここ数ヶ月続いている人手不足は依然として解消されず、また、鉄筋やコンクリート等の資材価格、軽油やガソリン等の燃料価格が上昇し、厳しい状態が続いている。

## ■県下の景気動向

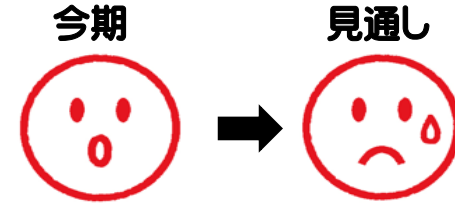
国土交通省によると、1月の住宅着工件数は76,491戸で、前年同月比では12.8%増となった。県内住宅メーカーによると、住宅設備関係の売上は、新設住宅着工戸数が上向き中、前年度より改善している。商品の売上や広告費等の経費節減を進めたこともあり、利益面でも改善が進んでいる。

## ■地区ごとの回答(前年同期比)

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	2	11	2	10	3	0	28	26.4%
不変	6	14	9	9	8	9	55	51.9%
悪い (悪化+やや悪化)	1	5	3	4	5	5	23	21.7%
合計	9	30	14	23	16	14	106	100.0%

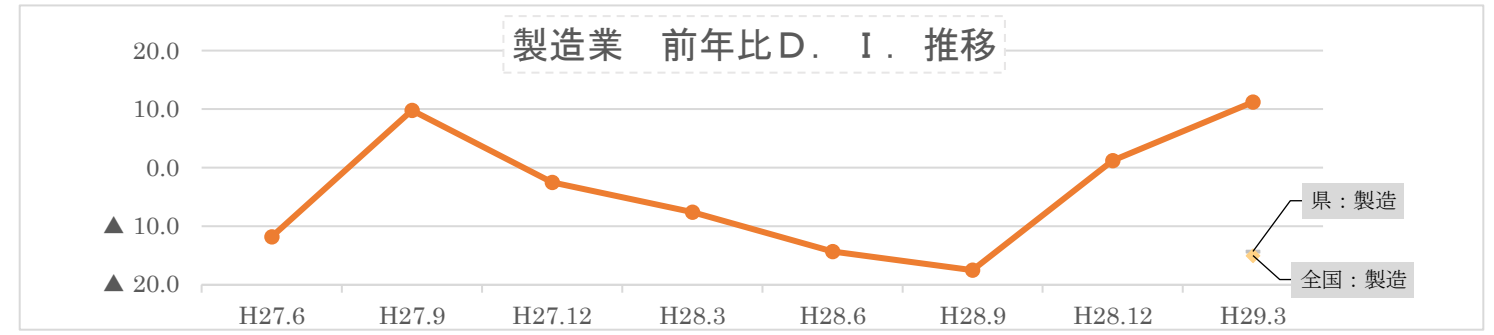
# 製造業

平成29年1月～3月期調査

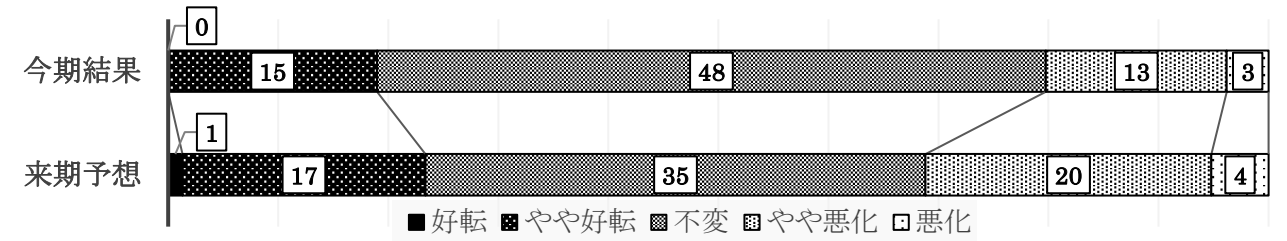


## ■丹波市の景況推移

2期連続して景気が良いと答えた事業所が多かった。特に山南町や市島町の事業所が顕著であり、業種を見ると金属加工業や樹脂加工、また山南町では、地場産業である釣り具関係となっている。



## ■丹波市の景気動向



## 【今期の景況】

決算期を迎えた企業が比較的多く、売上を伸ばした事業所もあれば、決算期が関係の無い事業所では在庫調整に追われる事業所もあった。また、ネット販売の増加などから、物流関係においては比較的好調であったと報告があった。

## 【来期の景況予想】

プラスチック関連、自動車関連は好調を維持していくものと思われる。一方、慢性的な技術者不足は続いており、今後新たな人材を確保し、育成していくことが課題となる。

## ■全国の景気動向

先月と比べわずかに改善。生産用機械器具、輸送用機械器具、電子部品製造業では受注量が増え、売上も増加している。人材不足による外注依存の高まりや、作業効率を向上させるため新たな機械導入など設備投資が積極的に行われている。しかし、原料や重油の値上げなど懸念材料も抱えている。

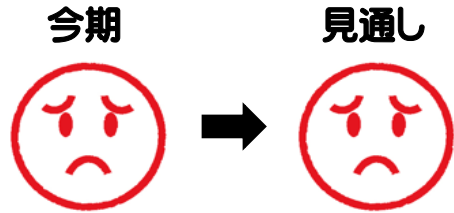
## ■県下の景気動向

県内大手重電メーカーによると、景況感に大きな変化は無くさほど良くない。先行きは読み取りにくい状態に変わりは無く、予断を許さない状況である。

## ■地区ごとの回答(前年同期比)

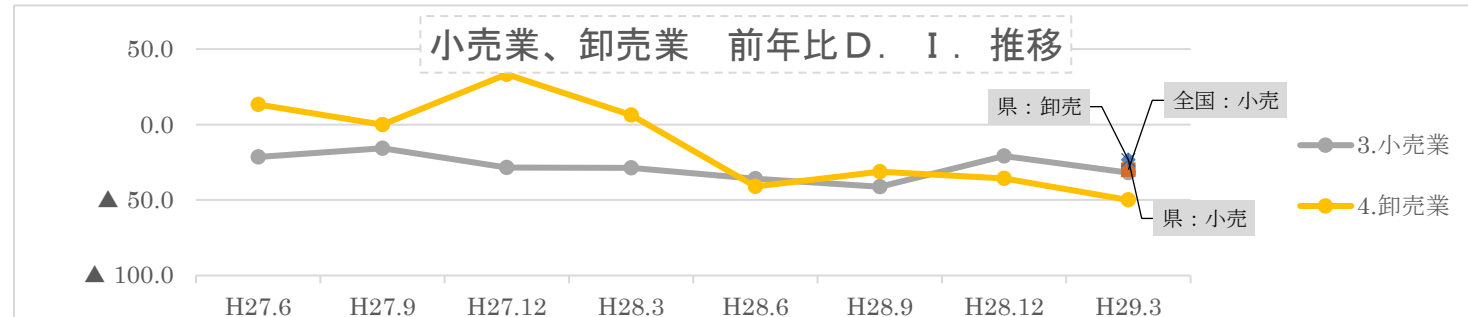
	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	2	4	3	1	7	7	24	30.0%
不変	3	9	5	7	13	4	41	51.3%
悪い (悪化+やや悪化)	3	5	3	1	2	1	15	18.8%
合計	8	18	11	9	22	12	80	100.0%

# 小売、卸売業

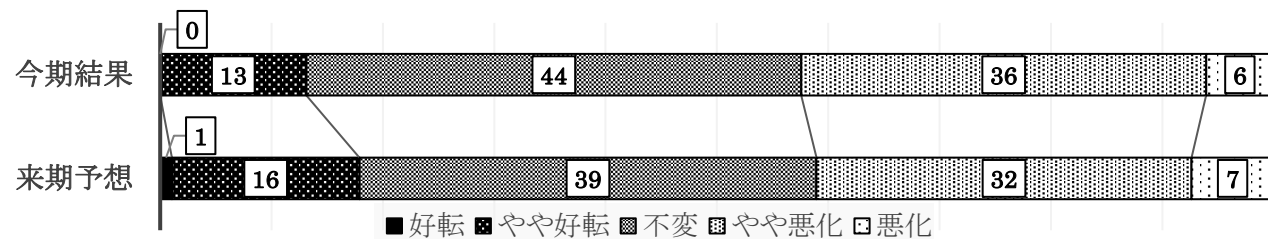


## ■丹波市の景況推移

小売・卸ともに前回を下回り、なかなか回復の兆しが見られない状況。その中でも、大雪の影響を受けた青垣町や、その他人口の流出の多い地域では、新規顧客の獲得に苦戦している。



## ■丹波市の景況動向



## 【今期の景況】

今期は降雪により、2週間程度営業ができなかった事業所もあるなど大きな影響を受けた。一方で、食肉販売関連では正月の帰省などの需要があり、また、自動車販売関連では決算期を迎えたこともあり、比較的客足が好調であった。

## 【来期の景況予想】

原材料や原油などの高騰が続いている。めがねを取り扱う業者から、樹脂関連が徐々に値上がりしているとの報告があり、今後の仕入れに影響するとの懸念もある。

## ■全国の景況動向

先月と比べわずかに改善。観光客の取り込みや定期的な売り出し日を定めている店舗では、人口減少や買い控えが続く状況においても売上を確保。1~2月の悪天候の影響を受けたという声もあるが、業界共通のイベント月の為不調時期をカバーすることができた。今後は、原油の価格高騰やインバウンド需要を注視する必要がある。

## ■県下の景況動向

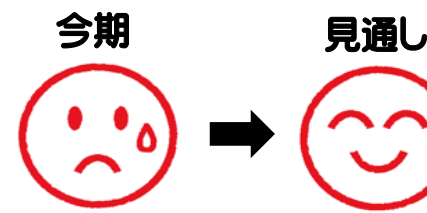
県内に店舗を展開する大手家電量販店によると、景況感はさほど良くない。年末年始のセールの実績は悪くはなかったものの、期待ほどではなかった。原因としては、黒物家電が期待ほど売れなかったことである。客数の減少は続いており、購入点数も伸び悩んでいる。

## ■地区ごとの回答(前年同期比)

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	3	4	1	4	2	0	14	14.1%
不変	9	14	2	2	9	1	37	37.4%
悪い (悪化+やや悪化)	7	12	7	9	7	6	48	48.5%
合計	19	30	10	15	18	7	99	100.0%

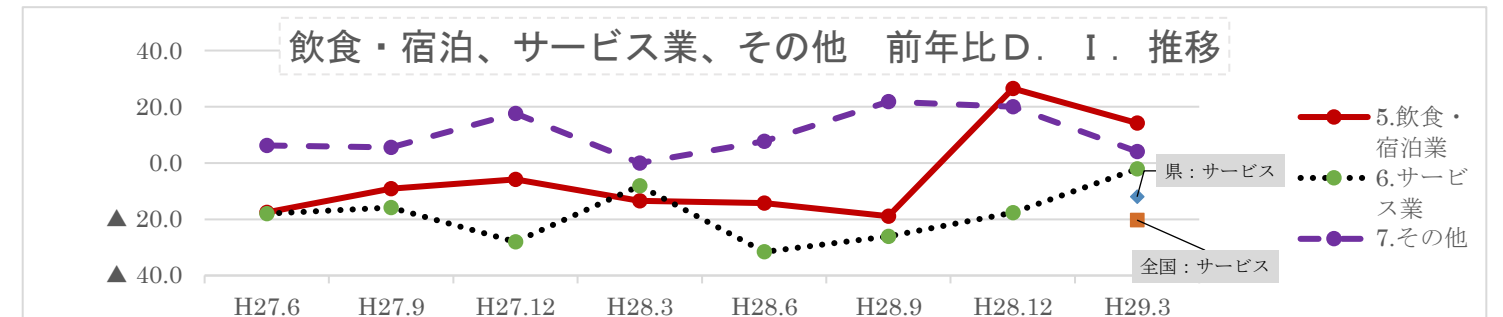
# 飲食・宿泊、サービス、その他業種

平成29年1月~3月期調査

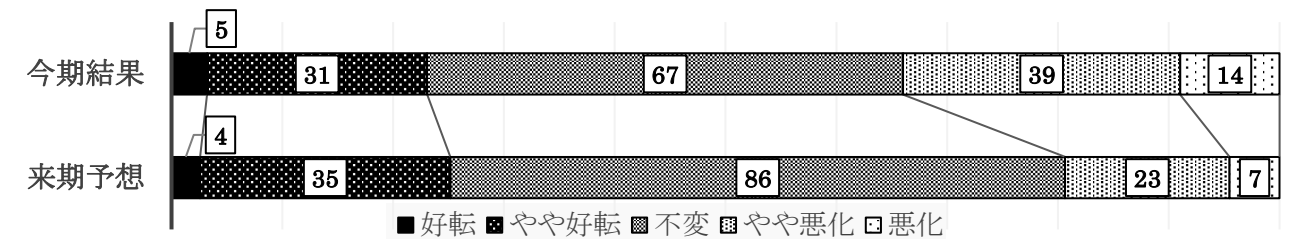


## ■丹波市の景況推移

飲食・宿泊、その他業種において景気判断は下降気味。サービス業は上昇している。年度末を控えアパート等の賃貸物件の動きが活発であった反面、いわゆる高級店が苦戦している状況である。



## ■丹波市の景況動向



## 【今期の景況】

自動車修理及び介護・福祉関連の景況感が良く、飲食・宿泊業においては、降雪等の天候不順の影響を受け売上が減少した。新規オープンの店舗では話題性もあり遠方より集客し業績を伸ばした。

## 【来期の景況予想】

飲食・宿泊関連においては、春の花見シーズン・歓迎会シーズン、ゴールデンウィーク等の需要が高まる時期であり、今期を上回るものと予想している。平成29年度は小規模事業者持続化補助金に取り組む事業者が多く、新たな販路開拓による売上増を見込んでいる。

## ■全国の景況動向

前月に引き続きわずかに改善。3月に入ってからはお客様の流れが良くなっている。プレミアムフライデーの効果も店舗によっては感じられている。また、春休み・送別会シーズンも重なり売上を伸ばしている。他にネイルサロンやアロマエステといった業種の開業や、ペット関連の売上が増加傾向になるなど新しい動きも目立っている。

## ■県下の景況動向

飲食関連については、年度末に掛けての送別会シーズンなどの到来もあり、売上を伸ばしている。県内ホテルによると、インバウンド客は減少しており、宿泊客は前年を下回っている。ビジネスホテルや民泊に流れていると分析している

## ■地区ごとの回答(前年同期比)

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	9	13	5	4	7	4	42	26.6%
不変	14	26	7	15	8	8	78	49.4%
悪い (悪化+やや悪化)	8	15	2	3	7	3	38	24.1%
合計	31	54	14	22	22	15	158	100.0%